

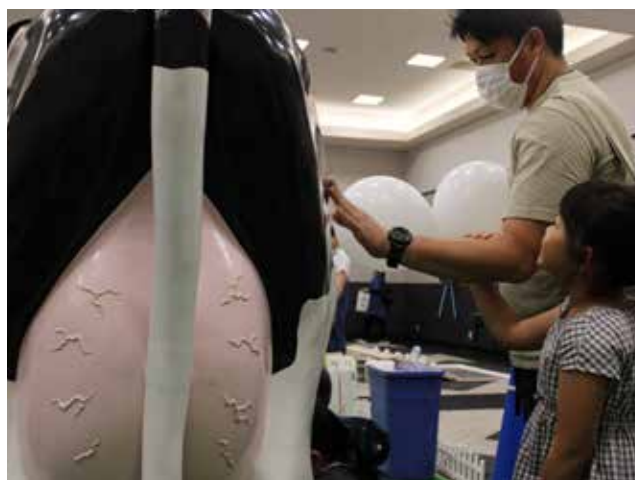
崎宮農略

令和8年 6月30日 印刷
令和8年 7月 1日 発行

編集人:有馬 慎吾
発行所:宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県農業協同組合
電話(0985)31-2100
<https://miyazaki.mz-ja.or.jp>
印刷所:宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.656
2026年7月



ミルクフェア



7月号目次

情勢報告	1
第77回宮崎県農業クラブ連盟大会	2
ミルクフェア	3~4(上)
県知事贈呈	4(下)
イタリアンの奨励品種について	5~6
配合飼料価格改定	7
農大通信Vol.19	8

ナンノ教授のヒトリゴト	9
全酪広告	10
全農広告	裏表紙



MILK UP!
プロジェクト



JAみやざきHP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和8年6月15日現在

指定団体	5月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	347,379	98.2	683,810	98.6
東北	39,026	95.9	76,947	95.6
関東	91,391	97.8	181,873	98.5
北陸	5,426	92.8	10,754	92.9
東海	25,801	98.6	51,145	98.6
近畿	12,095	96.0	23,991	96.1
中国	25,709	98.8	50,983	98.7
四国	8,987	98.9	17,792	98.9
九州	48,303	99.1	96,406	99.3
(内、宮崎)	5,508	91.0	10,952	90.2
都府県	256,737	97.8	509,890	98.0
合計	604,115	98.0	1,193,700	98.4

2. 販売状況

令和8年6月15日現在

用途	区分	5月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	244,227	97.9	472,197	97.8
	九州	31,586	94.6	61,472	94.9
はっ酵乳等	全国	36,006	99.2	71,340	99.1
	九州	7,256	99.6	14,425	99.8
特定乳製品	全国	172,753	96.3	352,106	97.1
	九州	7,210	127.1	15,753	121.4
生クリーム	全国	109,249	98.1	215,284	98.9
	九州	2,152	93.6	4,559	96.1
チーズ	全国	41,880	105.4	82,773	105.1
	九州	98	121.2	197	110.9
合計	全国	604,115	98.0	1,193,700	98.4
	九州	48,302	99.1	96,406	99.3

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 5月

生乳出荷量		戸数
100 t 以上		6戸
80 t 以上	～ 100 t 未満	1戸
60 t 以上	～ 80 t 未満	10戸
40 t 以上	～ 60 t 未満	29戸
20 t 以上	～ 40 t 未満	63戸
10 t 以上	～ 20 t 未満	29戸
10 t 未満		17戸
合計		155戸
最高出荷量		227t/月
平均出荷量		36t/月

4. トピックス

まだまだ間に合う夏場対策！

毎日の作業お疲れ様です。

『日本アイスクリーム協会が6月9日に発表した2025年度のアイスクリーム類及び氷菓の販売金額は、前年比2.8%増の6631億円となり、6年連続で過去最高を更新した。昨夏が観測史上最も暑かったことや価格改定の影響に加え、同協会は「商品そのものの価値向上」が消費者に支持されたと分析している。(中略)

種類別の販売金額と販売物量は、ともに「アイスクリーム」と「アイスマルク」が前年を上回っていることから、乳固形分や乳脂肪分の多いプレミアム製品が好まれているようだ。(さらに中略)

物価高騰の中、アイスは「コスパの良いスイーツ」として支持されている。』

と、日刊酪農乳業速報(6/10号)に載っていました。

さて、本文の3分の1ものスペースを使って、なぜアイスが売れているのか云々かんぬんを述べたのか、

《夏は乳製品の消費が伸びる!!》

という、いわば当たり前のことの言い方を変えてみた…。だけです。

そうです、牛乳乳製品は夏に売れるのです。

すべてのマーケットの価格は『需要と供給のバランス』で決まっています。つまり、需要(消費)に対して供給(生産)が増えれば価格は下がり、需要(消費)に対して供給(生産)が減れば価格は上がります。

酪農業界の永遠の課題は夏に生産が落ちることです。ここに需給ギャップが発生しています。業界ではこのギャップを払拭する為に、季節別乳価調整という取り組みを実施しています。いわゆる夏(需要期)に生産される生乳は高く、冬(不需要期)に生産される生乳は安く精算するという仕組みで、夏の生乳生産を促進することを目的としています。同じ生乳でも生産される時期で精算額に最大27円/kgの価格差があります。

この点だけ見ると、酪農経営の儲けのポイントは『夏にどれだけ生乳を絞れるか』に尽きると言えます。「そんなことわかってるよ!」と声が聞こえてきそうですが、寒冷紗やダクトの修理をしておけば牛の夏バテを減らせるかもしれません。飼槽を補修しておけばエサの腐敗を減らし食い込みが落ちないかもしれません。涼しいうちから対策を打っておけば、夏場をスムーズに乗り越えられるかもしれません。

農業はサラリーマンと違い頑張れば頑張った分、お金として自分に帰ってきます。

まだまだ間に合う夏場対策！

そのことを意識し農場を一周してみるとお金が落ちているところが見つかるかもしれませんね。

酪農課 木下 崇司

令和8年度 第77回宮崎県学校農業クラブ連盟大会 ～家畜審査競技会～

【大会概要】

令和8年6月12日（金）に JAみやぎき児湯地域家畜市場にて家畜審査協議会が乳用種種牛の部、肉用種種牛の部の2部門に分かれて開催された。

未来の畜産業の担い手である高校生たちが、学校農業クラブ等の活動を通じて得られた知識・技術を競い、畜産技術や職業向上を図る目的をもって行われた。

県内から高千穂高校、高鍋農業高校、都城農業高校、小林秀峰高校の4校から総勢64名の生徒が参加し、乳用種種牛の部では内23名の生徒が参加した。

乳用種種牛の部においては、「ホルスタイン種雌審査基準」に基づき、現状審査が行われた。出場選手は4頭の乳牛について制限時間20分以内で審査を行い、各部位ごとの序列や全体の序列を決定し各自の審査が正解にどれだけ近いか得点によって順位を競い合うというものであった。

審査委員長は認定ジャッジマンの資格を有する酪農家の今山陽一氏（都城市）が務め、厳正なる審査を行った。

選手による審査の様子



開会式の様子



審査委員長（認定ジャッジマン今山陽一氏）



「みやざきミルクフェア2026」開催

JAみやざき 酪農課 黒木 久美子

6月6日(土)7日(日)の2日間、イオンモール宮崎にて「みやざきミルクフェア2026」を開催しました。

今年は、例年実施している手作りバター教室と牛乳パックを使用した工作ワークショップ体験の他に新たに牛乳、成分調整牛乳等を飲み比べする「モーモー好き牛乳杯」等を実施しました。また、「MILKショップ」やイオンスタイルで牛乳を購入したお客様へミルクフェアオリジナルシールを作成し配布しました。

その他、模型牛「ミル子」の搾乳体験やバラエティ豊かなステージイベントが各会場を大いに盛り上げました。

今後もこのようなイベントを通して酪農および牛乳・乳製品への興味関心を高めてもらうことで、消費拡大に繋がっていきたいと思います。

【松浦牧場 トークショー】



6日と7日の2日間、ステージイベントのトークショーに松浦牧場の松浦さんご夫婦に登壇して頂きました。また、バター作り体験教室やMILKショップ等ご協力ありがとうございました!!

【MILKショップ OPEN!!】



県内酪農家と白水舎乳業が出店。ソフトクリーム、チーズ等の乳製品を販売して頂きました。ご参加頂きました石川牧場様、中西牧場様、高原アイスクリーム研究所様、加藤牧場様、松浦牧場様、白水舎乳業様ありがとうございました。

【ミル子の搾乳体験】



本物そっくり模型牛「ミル子」の搾乳体験は行列ができるほど大人気でした!

【牛乳パックを使った工作ワークショップ】



牛乳パックでウィンドカーを制作し、うちわの風でレース! こども達の笑顔が溢れてました。

【モーモー計量チャレンジ、生成AI×ホルスタインスタジオ】



モーモー計量チャレンジ終了後は、参加者のみなさんが美味しそうに牛乳を飲んでいました。

【ヒナタテラスでのステージイベント】



「モーモー利き牛乳杯」、「モーモー選手権」等大盛り上がりのステージイベントでした。

「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーン知事贈呈

JAみやざき 本店 酪農課

宮崎県酪農青年女性連絡協議会は、6月5日(金)に、宮崎県庁にて県知事・両副知事・農政水産部長・畜産局へ牛乳・乳製品を贈呈し、今年度の「父の日に牛乳(ちち)を贈ろうキャンペーン」としての消費拡大運動を実施しました。

宮崎県酪農青年女性連絡協議会会長の永田一喜氏は、「酪農をとりまく環境は、円安による飼料価格の高騰などを背景に厳しい経営状況が続いている。できるだけ多くの方に牛乳を飲んでいただけるようPR活動に励みたい。」と話されました。

河野知事は、牛乳を飲んで「とても美味しい。県民の方に一杯でも多く牛乳を飲んでもらえるようPRに励みたい。」と話されました。

知事贈呈だけでなく、地域の青年女性部会でも各市町村長や県下JA地区本部長方に各地区の代表から随時贈呈を実施しています。

これからも「父の日には牛乳(ちち)」と定着できるよう積極的に活動していきます。



河野県知事への贈呈式

新たなイタリアンライグラス県奨励品種について

畜産試験場 酪農飼料部

1. はじめに

「牛づくりは草づくり」と良く言われますが、酪農経営においても、良質な自給飼料を生産・確保することが、安定した経営を行う上での大きなポイントになります。

本県では、トウモロコシやソルガムといった長大作物、イタリアンライグラスに代表されるイネ科牧草、飼料用イネなど、多くの自給飼料が生産されています。

その中でも、本県において、特に適応性が高い品種については、県の奨励品種として指定し、現場での普及を進めています。今回は令和7年度に新たに県の奨励品種に選定されたイタリアンライグラスの品種について紹介します。

2. 令和6年度イタリアンライグラス奨励品種選定試験の概要

畜産試験場のほ場及び各地域の現地実証ほ場で栽培試験を実施し、生育状況や収量の他に、病虫害、倒伏、折損など、様々な項目について原則3年間調査を実施し、それらの成績を検討して、奨励品種に選定するか判定します。

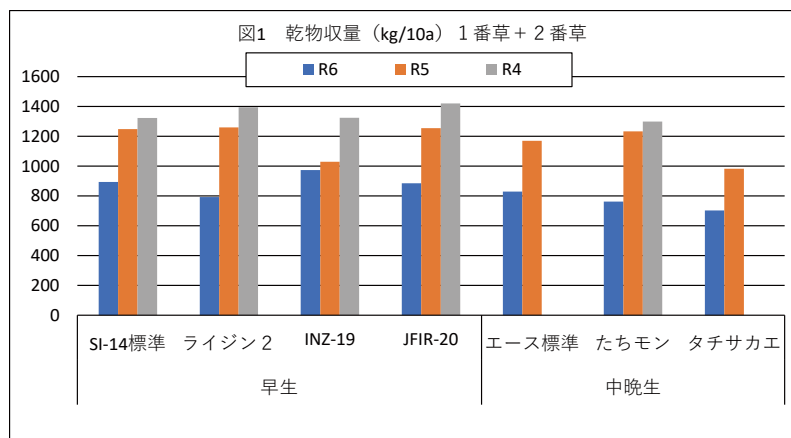
表1に、令和6年度に畜産試験場内ほ場において実施したイタリアンライグラスの試験に供試した品種の概要を示します。

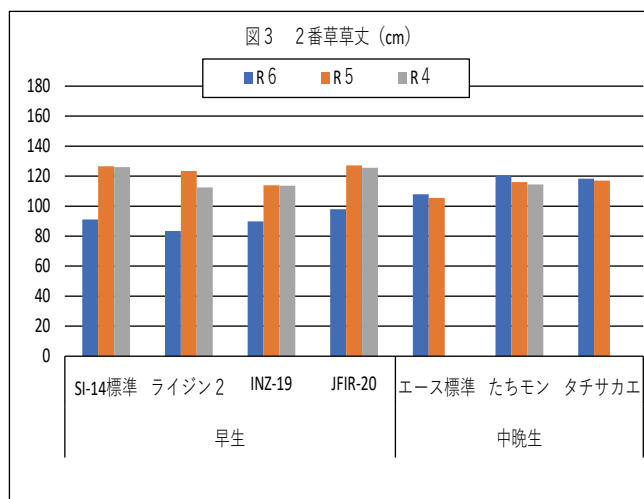
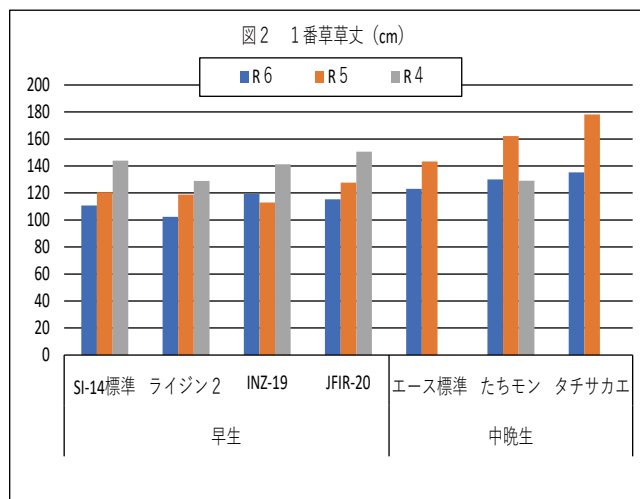
本試験では、既奨励品種である早生の「SI-14」を標準品種として4品種、晩生の「エース」を標準品種として3品種について栽培試験を実施しました。

過去3年間の乾物収量は図1、草丈は図2及び図3のとおりです。

表1 R6年度奨励品種選定試験の概要

品種	流通名	早晩性	取扱	播種日	1番草調査日	2番草調査日	備 考
SI-14 ライジン2 INZ-19 JFIR-20	タチュウカ ライジン2 いなずまGT うし想い	早生 早生 早生 早生	雪印 カネコ カネコ タキイ	10/11	4/16	5/13	標準・宮崎県奨励品種
エース たちモン タチサカエ	エース たちモン タチサカエ	晩生 晩生 中生	雪印 雪印 タキイ	10/11	5/1	6/4	標準・宮崎県奨励品種





3. 新たに選定された奨励品種

これまでの試験結果を踏まえ、安定した収量等が得られた「ライジン2」及び「JFIR-20(うし想い)」が新たに県の奨励品種に指定されました。また、中晩生の3品種は、令和7年度も継続して試験を実施しています。

表2 令和7年度に奨励品種に選定されたイタリアンライグラスの特徴

草種	流通名	取扱	主な特徴
イタリアンライグラス	ライジン2	カネコ	多収。立性。
	うし想い	タキイ	多収。茎葉に硝酸耐窒素が蓄積しにくい。



ライジン2



うし想い

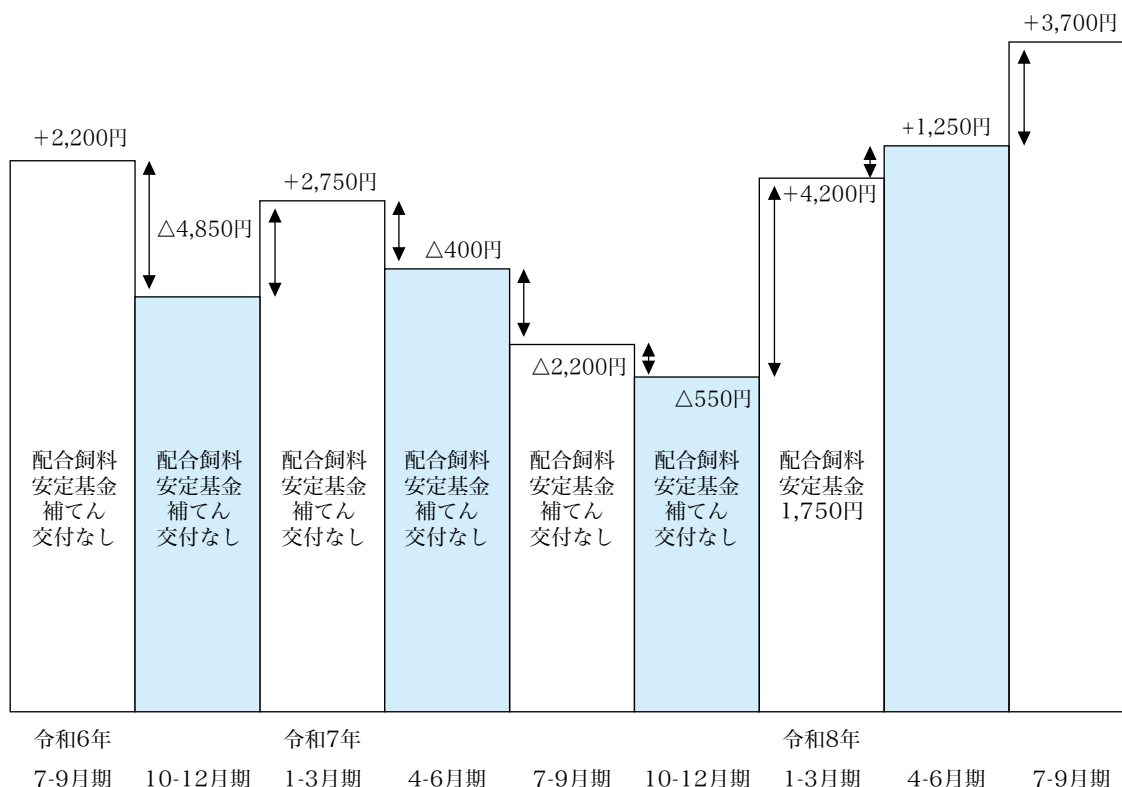
4. 最後に

品種毎の特徴を十分理解し、各経営に適した品種を選んで作付けすることで、より栄養収量が高く、品質の良い自給飼料の生産・給与に繋げることが期待できます。

自給飼料を作付けする際には、普及センター等にも相談しながら、県奨励品種の活用についても検討されてみてはいかがでしょうか。

(問い合わせ先: 酪農飼料部 0984-42-4837)

配合飼料価格改定の推移について(令和8年7～9月期)



1. 主要因

①とうもろこしのシカゴ定期は、2月には430セント/ブッシェル前後で推移していたが、中東情勢の悪化による原油価格の高騰や4月中旬の米国中西部の天候不順による作付遅延懸念などから5月上旬には480セント/ブッシェル前後まで上昇した。その後、米国産地の天候が改善し、良好な生育が期待されていることなどから下落し、現在は420セント/ブッシェル前後で推移している。

今後は、米国産新穀の生育期の天候や中東情勢の動向などに左右される相場展開が見込まれる。

②大豆粕のシカゴ定期は、2月には340ドル/トン前後で推移していたが、中東情勢の悪化により原油価格が高騰していることや大豆粕の米国内および輸出需要が旺盛であることなどから4月には360ドル/トン台まで上昇した。現在は米国産大豆の良好な生育が期待されていることなどから下落し、340ドル/トン台で推移している。

国内大豆粕価格は、シカゴ定期の上昇や為替円安などから値上がりが見込まれる。

2. 海上運賃

米国ガルフ・日本間のパナマックス型海上運賃は、2月には50ドル/トン前半で推移していたが、原油価格の高騰により燃料代が上昇したことや、石油関連製品の調達先を米国に切り替える動きが世界的に進んだ影響で、パナマ運河で長期滞船が発生し船腹需給が引き締まったことなどから上昇し、現在は75ドル/トン前後で推移している。

今後は、中東情勢の動向などに左右される相場展開が見込まれる。

全国全畜種総平均(全農系)トン当たり3,700円値上げとし、銘柄別に決定する。

農大通信 vol.19 ～忘れてはいけないこと～

日々気温が上昇しており、夏の気配を感じる時期になってきました。今年も猛暑になりそうとのことなので、牛たちが過ごしやすい環境づくりには苦労しそうな気がしています。

さて、農業大学校では、毎年5月16日に口蹄疫慰霊祭を行っております。これは、今から16年前、平成22年のこの日、学内で口蹄疫が確認されたからなのです。口蹄疫により、農業大学校では牛218頭と山羊2頭が殺処分され、敷地内に埋却されました。今年の慰霊祭(5月15日に実施)では、当時農業大学校の教員であった宮崎家畜保健衛生所・坂元所長の講演があり、学生はもとより私も知らなかった学内での出来事を聞くことができました。自分が管理している牛たちを自分の手で殺処分しなければならない葛藤など、非常に考えさせられるものでありました。



口蹄疫慰霊祭での講演の様子

ところで、農業大学校の学生は様々な免許・資格を取得できます。1年生は、最初の免許として、飼養管理等で必要となる農業用大型特殊免許の取得に挑みました。学内の教習コースにおいて5日間の練習を行い、県警の試験官を招いて実地試験を行いました。教習車両の大型トラクターですが、自動車よ

りもかなり大きく、小回りはききません。最初は悪戦苦闘していましたが、徐々に慣れていき、教習終了時にはスムーズに運転していました。さすが農大生、覚えがよいです。(私も学生に混じって免許を取得しました)



1年生の大特免許教習

2年生は、1年次からの講義・実習を積み重ねてきた家畜人工授精師講習の最終段階になりました。解剖や生理などの講義はもちろん、実験室での検査実習、外部機関への施設見学など、様々な講習を受講し、それぞれの試験に合格し必要な単位を取得しなければなりません。写真は最終科目の試験の様子です。しっかり勉強してきたから余裕の表情の学生、ヤマが外れて若干焦っている学生、様々でしたが、見事全員合格しました。



2年生の試験風景

1年生は各専攻にわかれての実習、2年生は卒業に向けての研究が始まってきました。これから忙しくなっていくそうです。

農学部 ナンノ教授のひとりごと

アディショナル・タイム

南野 快

FIFAワールドカップ2026が開幕した。この大会名は日本でも馴染み深いものになったが、FIFA(フィファ:国際サッカー連盟)はフランス語の「Fédération Internationale de Football Association」の頭文字をとったものである。なぜフランス語かというと、最初の会議が1904年にパリで開催されたことや、当時(20世紀初頭)は国際機関の公用語としてフランス語が広く使用されていた時代背景もあったようだ。余談だが、世界の動物衛生を扱う国際機関である国際獣疫事務局の正式名称は OIE(Office International des Epizooties) と言い、フランス語である(2022年から英語の WOAH: World Organisation for Animal Healthが通称として用いられるようになった)。

今大会から導入された新ルールの一つに、前半後半それぞれの途中(22分前後経過後)に3分間の給水休憩が設けられたことがある。これは、過酷な環境での選手の安全確保と熱中症対策のため、全試合で一律実施されるということだが、選手のコンディション調整の他、監督やコーチ陣が戦術的な指示を選手に与えたりすることができることから、その前後での戦術の変化の有無を確認したりするなど、観る者にとっても面白い要素が増えたと言えるだろう。これに伴い、アディショナル・タイムも自動的に3分付くことになった。アディショナル・タイム(Additional time: 付加時間)とは、規定時間である前半と後半の各45分間の終了時に、選手交代や負傷治療などで消費された時間分を追加する時間を指すが、厳密に秒単位でカウントされている訳ではなく、どの時点で終了の笛を吹くかは主審の裁量である。

このサッカー用語、かつてはロスタイムと呼ばれていたが、和製英語である。ロスタイムと言うと「空費した時間」のように聞こえるが、競技以外ではVAR(ビデオアシスタントレフェリー)や、得点が入った際のゴールパフォーマンスの時間もカウントされる。これらの時間もサッカーを構成する重要な要素であり、無駄遣いとは言い難いので、やはりアディショナル・タイム(追加された時間)の呼称の方がしっくりくる。

人生をサッカーの試合に例えた、「ロス:タイム:ライフ」という映画があった。主人公の死の直前に時間が止まり、それまでの人生の中でのロスタイム(無駄遣いしてきた時間)が提示され、その時間だけ長く生きられるというストーリーだが、自分が死を迎える前にアディショナル・タイムが与えられたとしたら、何にその時間を使うだろうか?しかし、誰も自分の人生でどのくらいの時間を無駄に過ごしてきたかを知っている者はいるまい。「そもそも、人生において無駄な時間などないのではないか」と自分を納得させて、ワールドカップ2026はビールを片手に心ゆくまで観戦を楽しみたいものだ。



写真 JR日南駅前に咲くハイビスカス。沖縄では「アカバナ(赤花)」と、とてもわかりやすい名前と呼ばれている。2025年7月12日撮影。

全酪連初生牛預託事業のご案内

- ・「仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよね。」
- ・「子牛の病気や治療が多くて困っているんだよね。」

こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用してみませんか？



全酪連若齢預託熊本牧場（菊池市泗水町）

～牧場風景～



【預託事業に関するお問い合わせは】
全酪連 福岡支所 畜産課 まで
092-431-3447
お気軽にご相談ください。

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後4日齢～1カ月齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢等の疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連「強化」哺育・育成体系で管理いたします。



代用乳製品

生まれた子牛は強化哺育®にお任せください!!

ホルスタイン雌子牛 強化哺育®用



全酪連は2005年1月に搾乳後継母牛のための「強化哺育®」・育成体系を発表、強化哺育®用代用乳「カーフトップEX」を供給してまいりました。以来、全国各地でご利用いただき、子牛の発育と健康面における大幅な改善、初産分娩の月齢短縮や体格向上、初産乳量増加などの好結果に絶大なご支持を賜ってまいりました。全酪連・酪農技術研究所では、自家産の雌牛を対象に、哺育体系の違い（「標準体系」vs「強化哺育®」）を比較するための飼養試験を1998年より継続してまいりました。これまでの5年間のデータを哺育期・育成期・初産乳期について集積・比較した結果を要約すると、初産分娩月齢は22.3ヶ月ではほぼ同一、初産分娩後体重は強化哺育®区が596.2kgで+23.7kg、初産乳期乳量は強化哺育®が9,682kgで標準より+822kgという結果でした。

和牛・F1子牛 強化哺育®代用乳



強化哺育®の効果を和牛子牛やF1子牛に応用するために「カーフトップEXブラック」を開発、2007年夏より供給開始し、全国の肉用素牛の体格を大幅に改善して注目されております。肉用素牛においても、強化哺育®によって、過肥にならず、フレームサイズが大きく、飼料摂取に優れた育成管理が重要であり、全国で自動哺乳機による和牛・F1子牛強化哺育®事例が普及しつつあります。「カーフトップEXブラック」は、ホルスタインよりも生時体重の小さい和牛やF1子牛のエネルギー充足を満たすためにエネルギー濃度を上げ、更に粉末初乳を加えて便スコアの改善を考慮しています。



全酪連の購買製品カタログ(全国版)はこちら
代用乳・配合飼料・添加物・酪農・畜産機材類 掲載

地域によって、取扱がない製品もございます。
詳しくは各支所へお問い合わせください。

福岡支所 TEL 092-431-8113 FAX 092-431-8355
南九州事務所 TEL 0986-62-0006 FAX 0986-62-0193

フレーク&ペレット

➤ 乳配M

- CP 17.0%・TDN 72.0%
- ハイキューブ、綿実、ビートパルプを多く配合したミックスタイプ



➤ 乳スタンダード

- CP 17.0%・TDN 74.0%
- ローコストでベーシックな搾乳牛用配合飼料



➤ 乳ブレンド18

- CP 18.0%・TDN 74.5%
- 綿実・ビートパルプを多く配合



マッシュタイプ

➤ デイリープレミアムM

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- バイパス蛋白配合
- ビタミン・ミネラル強化



➤ パワーSマッシュ

- CP 17.0%・TDN 74.5%
- シンプルな内容で低コストを実現

